

会 議 録

会議の名称	第3回多目的屋外スポーツ施設設置に関する市民懇談会
開催日時	令和6年3月18日（月）19時00分～20時30分
開催場所	富士見市役所2階 市長公室
出席者	神谷和義座長、三上和広委員、大澤辰雄委員、栗名武尊委員、 水野舜委員 事務局（文化・スポーツ振興課）
欠席者	與那覇大地委員、石川京子委員、栗田宗保委員、仲尾忠雄委員、 田坂佳宏委員
会議資料	資料1 多目的屋外スポーツ施設整備に係る基本計画（案）のパブリックコメント対応案について
公開・非公開	公開（傍聴人 0人）
会議録確認	神谷座長

＜第3回多目的屋外スポーツ施設設置に関する市民懇談会＞

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議題

（1）多目的屋外スポーツ施設整備に係る基本計画（案）のパブリックコメント対応案について

【事務局より資料に基づき説明】

【質疑・意見】

座 長：質問意見はあるか。

参加者：プールに関する意見もあるが、市としては今後のプール整備の可能性についてどのように考えているのか。

事務局：本計画内ではプールの議論はされていないが、ガーデンビーチ廃止に際して開催された市民懇談会等で、多くのご意見をいただいたなかで、プールではなく屋外スポーツ施設を整備する方針となったことを踏まえ、本計画の検討を行ってきた。現時点では、プールの整備に関する検討や将来新たにプールを整備する構想はない。

参加者：市民からプールが無くなる事に対する意見があることについては、市としても認識しておいていただきたい。

参加者：フリーウエイトトレーニングについて、これまで市に対して要望はあるか。

事務局：体育館で実施したアンケートでは設備導入を望む意見があったが、どの程度の市民ニーズがあるかは不明である。

参加者：普段あまりトレーニングしないような人にとっては、民間施設よりも公共施設の

方が利用しやすいため、要望があれば検討していただきたい。

事務局：事業者選定時にフリーウェイトスペースの整備を条件とすることは想定していないが、事業者から提案があった場合には検討させていただく。

参加者：膜屋根の設置について、費用対効果が数字で示されると分かりやすくなると思う。

事務局：民間活力導入可能性調査にて、稼働率の見込など、費用対効果を協議している。近隣市町のテニスコートとフットサルコートの稼働率については、ふじみ野市のテニスコート約67.9%、フットサルコート約34.1%、三芳町のテニスコート約47.2%、新座市のフットサルコート約28.6%となっている。

屋根付き施設であるため、近隣市町の施設より稼働率は高く設定することを考えている。

屋根があることによって、いつでも利用できるほか、近隣にない屋根付きのテニスコート、フットサルコートを作ることによるシティプロモーション効果も期待できる。また、市民懇談会や審議会等でも「屋根があった方がよい」という市民意見を多くいただいたため、コストはかかるが、設置する方針とした。市民の皆様から預かった公金で整備する施設であるため、稼働率を上げ、利用料収入を増やすなど、財政負担の軽減に努めていく。

参加者：今回のパブコメでは、意見数が11件であるが、他のパブコメと比べてどうか。

また、計画案の駐車台数は、最低限の台数を示しているのか。実際の施設整備にあたっては駐車台数を変更する可能性があるのか教えていただきたい。

事務局：パブコメの意見数については、他の案件では0件となった例もあるため、少なくないと思われる。

駐車場については、3月議会で大会誘致のためにより多く必要ではないかという意見があった。駐車台数については、事業者に提案してもらった想定であり、現在示している駐車台数は、必須条件ではないため、変更となる可能性がある。

参加者：事業者提案の自由度が上がるよう、市が求める最低条件についてうまく示していただけたらと思う。

事務局：少年サッカーの大会を開催したいという声が上がっているが、現在の配置ではベンチやスタンドを設けるスペースがない。スペースを確保するためには、駐車場を減らすことも考えられるが、駐車場を減らすと大会開催時の駐車台数が確保できないなどの問題もでてくる。

事務局としては、場合によっては公式で認められている範囲でコートを小さくするなどしてスペースを確保することも検討しているが、この点についてご意見を伺いたい。

参加者：少年サッカーの公式戦は50m×68mより小さいコートで行うことはほとんどない状況である。8から9チームくらいが集まって行う大会では、車両台数に制限を設けても40台程度の駐車場を使用する。

他の人口芝の施設で大会を行う時には、ウォームアップスペースがほとんどないところもある。

現在の配置だと中央広場が待機場所兼ウォームアップスペースになると思っている。コートサイズを小さくしてスタンドを作るか、コートサイズを確保するかでいうと、コートサイズを確保してほしい。

駐車台数に関しては富士見市の運動公園は100台ほどであるが埋まりやすく、第2運動公園は200台ほどであり余裕がある。そのため、130台ほどあれば十分であると思われる。

参加者：本施設のコンセプトの「市民交流の場」というのは、大会による交流と、市民の利用しやすい施設として日常的な交流の、どちらを重視していくのが重要となると思う。

事務局：当初のコンセプトは市民がスポーツをする場であるが、検討していく中で本施設規模の屋根付きの施設は関東にもあまりないことが分かったため、大会での活用も考えるべきであるということとなった。そのため、このことについては、今後、検討させていただく。

参加者：クラブハウスの上からコートを見学することは可能か。

事務局：コートの屋根の高さにもよるが一つの選択肢として検討していきたいと思う。

参加者：雨水流出抑制対策機能は今までより貯留できるようにするのか。

事務局：現状と同等以上、貯留することができる計画としている。

参加者：本計画にて、障がい者用駐車場に関して「優先駐車区画」を整備するとあるが、「優先駐車区画」とは何か。

事務局：高齢者、障がい者、妊産婦、けが人等が優先的に使用できる駐車場区画のことである。

参加者：車椅子で施設内の移動は可能か。

事務局：可能である。

参加者：車いすの方が利用できる設備はあるのか。

事務局：市としても、障がい者スポーツの推進を大きな柱として考えており、多目的運動場で器具を用いた運動教室など、事業者から提案を求めたいと考えている。

参加者：夜の騒音について周辺住民への影響を踏まえ、説明が必要であると思われる。

事務局：実際に、どれほどの音が響くのか不明であるが、騒音対策等については今後検討する考えである。

令和6年度に実施する解体工事を行う際は、近隣住民へ説明をしたうえで着工する予定である。

4 その他

事務局：今後のスケジュールについて説明

5 閉会

以 上